

評価軸1-1
組織体制

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
歴史的風致の維持及び向上に向けた連携並びに推進体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
歴史的風致維持向上計画の推進体制は、都市計画課と文化財課を中心とし、関係各課と連携を図りながら、下野市歴史的風致維持協議会において計画推進や計画変更、効果的かつ円滑な事業実施に向けた協議を行い、事業の推進を図る。
具体的な事業や取組みの実施に関しては、国や栃木県の指導を仰ぎながら、庁内各関係課と連絡調整を行いつつ、事業対象となる文化財の所有者や周辺住民等と協議のうえ実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

第3回(令和2年度)歴史的風致維持向上協議会を令和3年3月18日に開催し、令和2年度の進捗評価シートについての説明を行った。

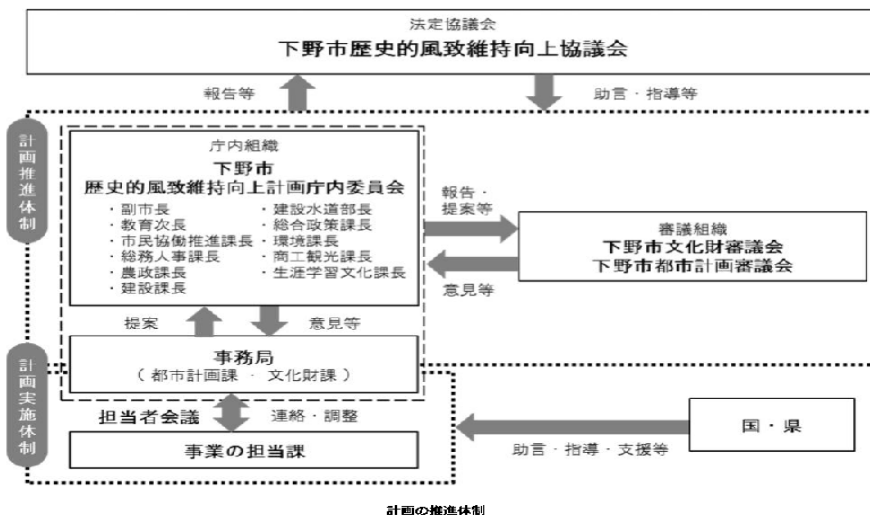
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	各種事業を円滑に推進していくため、各種補助事業の積極的な活用を図った。その中でも、天平の丘公園再整備については、令和3年度より国の都市再生整備事業計画補助金を活用し実施する。 引き続き国庫補助の積極的な活用を推進するとともに、歴史まちづくりに関する情報を発信し、市民の意識向上を図る必要がある。

状況を示す写真や資料等

①第3回(令和2年度)下野市歴史的風致維持協議会の開催
令和3年3月18日(木)
議題 (1)下野市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について



第3回下野市歴史的風致維持向上協議会 (R3. 3. 18)
※書面開催



評価軸2-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
重点区域における良好な景観を形成する施策 (1) 都市計画との連携 (2) 景観施策との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

歴史的風致維持向上計画に位置付けられている重点区域については、市街化調整区域となっているため、都市計画及び建築の制度や誘導施策と連携しながら、両重点区域の更なる歴史的風致の維持向上を図る。栃木県の景観条例及び屋外広告物条例に基づき歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国の指定文化財である下野薬師寺跡及び国分寺跡、国分寺尼寺跡と緑地環境地域の国分寺跡周辺については、栃木県屋外広告条例により、屋外広告物の掲示禁止地域に定められている。また、令和4年の景観計画作成に向けた検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

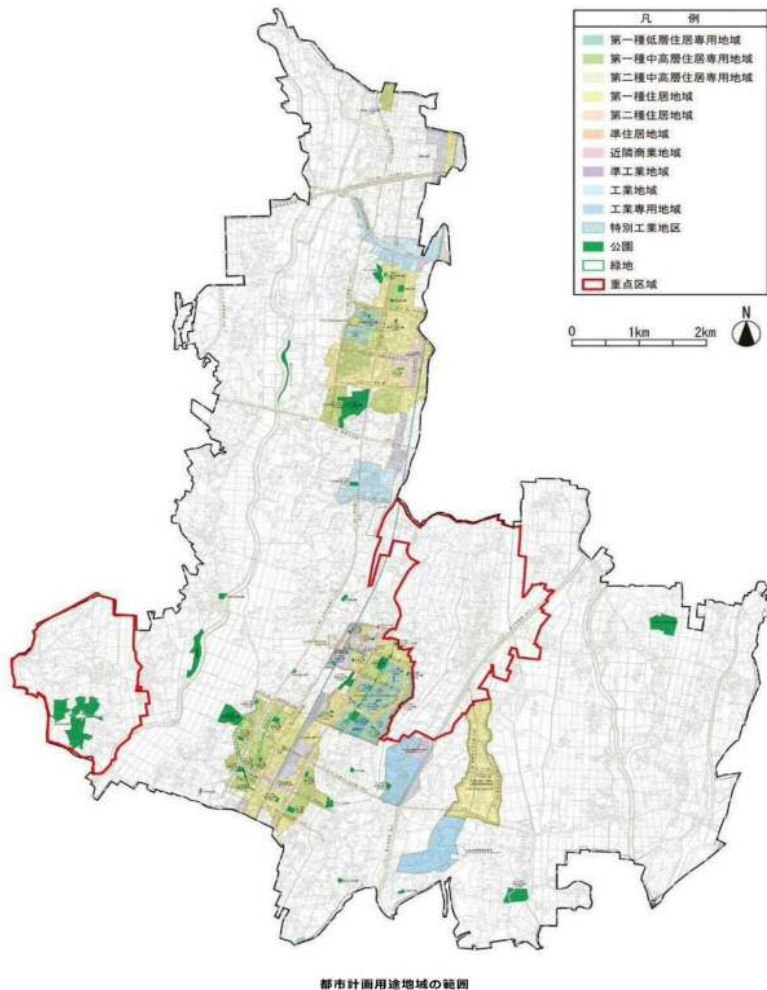
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

令和4年4月1日に「景観計画」の策定と「景観条例」の制定を目指す。

状況を示す写真や資料等

第4章 重点区域の位置及び範囲



都市計画用途地域の範囲

評価軸3-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
下野薬師寺跡保存整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 発掘調査の結果に基づき、当時の伽藍の基壇の復元等を行うとともに、既整備範囲についても再整備事業を実施する。

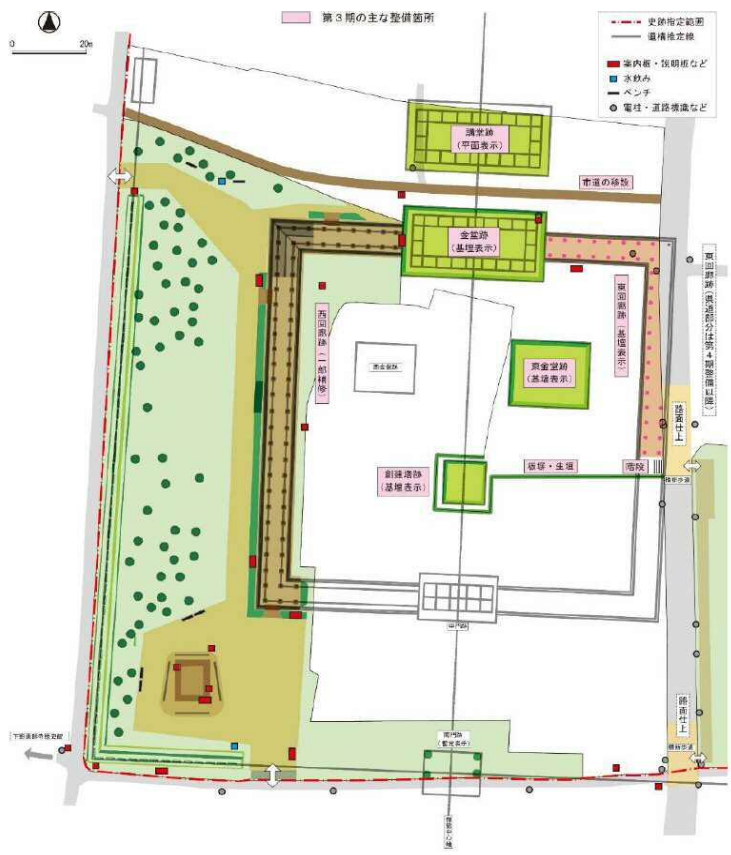
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

第3期保存整備事業の基本計画の素案を作成し、下野薬師寺跡保存整備委員会に諮り意見をとりまとめたうえ、令和3年3月に基本計画を策定した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 今後は策定した基本計画に基づき、文化庁、庁内関係各課との調整を図りながら、実施設計や整備工事を進める。

状況を示す写真や資料等



第3期整備事業基本計画図



第3期保存整備事業実施予定箇所(金堂周辺)



第3期保存整備事業実施予定箇所(東側基壇建物跡周辺)

評価軸3-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
史跡等公有化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和4年度

支援事業名 史跡等購入費補助金

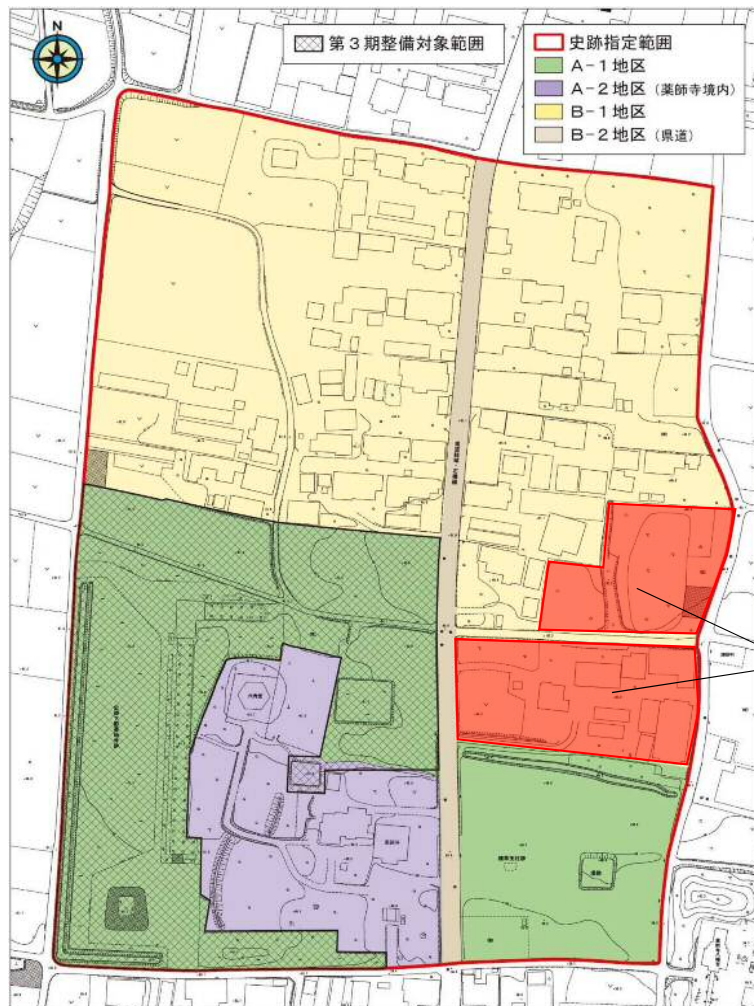
計画に記載している内容 史跡下野薬師寺跡の推定東門周辺地区の整備事業を実施するため、土地の公有化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

公有化に向け、地権者への説明等を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	公有化にあたっては地権者と綿密な協議が必要であり、家屋や竹林等の撤去の際には地下遺構に影響を与えないよう慎重な工事が必要となる。

状況を示す写真や資料等



公有化予定箇所

評価軸3-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
歴史的風致形成建造物の調査・継承支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

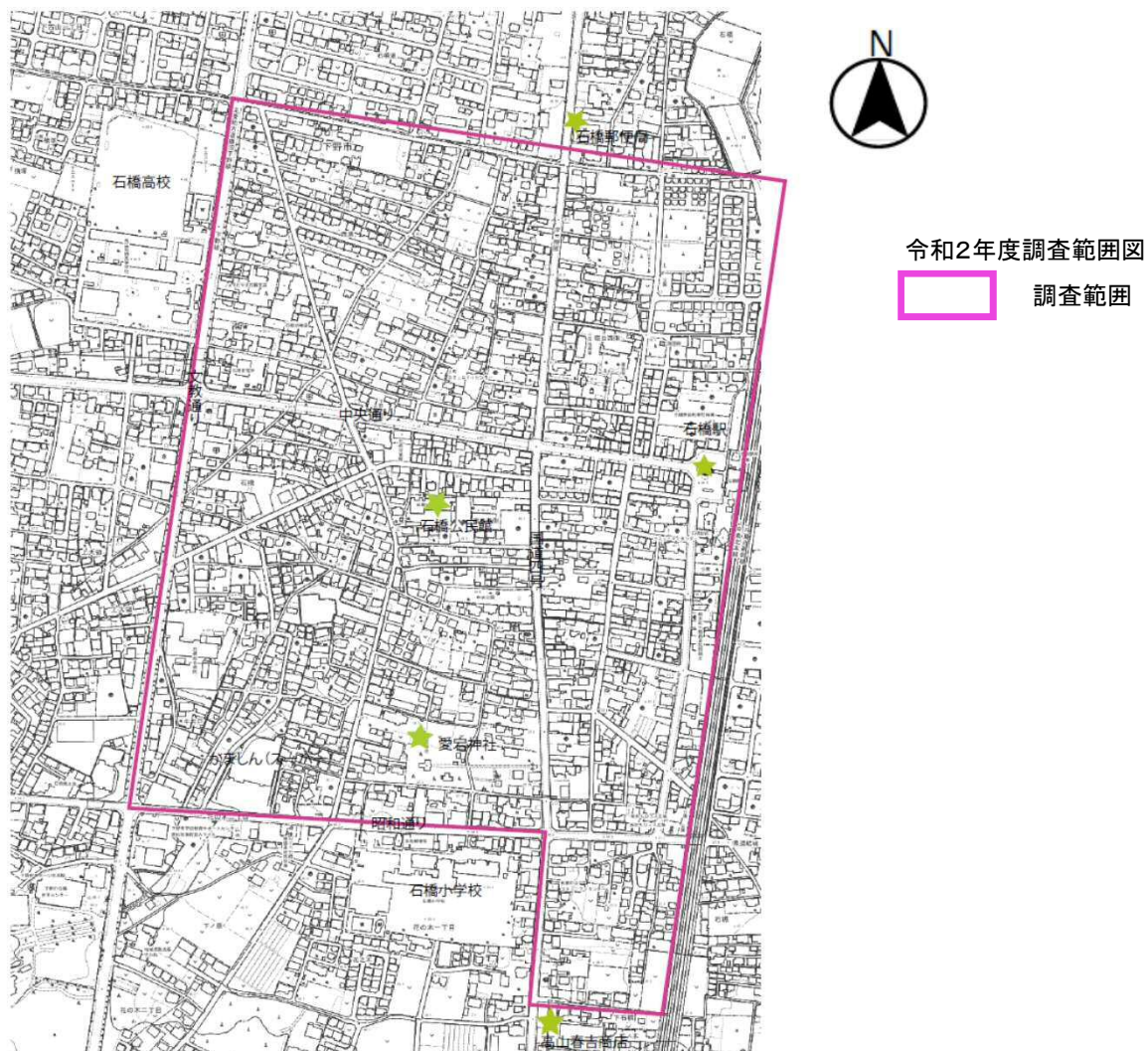
計画に記載している内容 これまでに十分に調査されていない歴史的建造物について、総合的に把握するとともに調査を実施する。また、調査等に基づき歴史的風致形成建造物を指定し、保存を図るために修理等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

石橋地区の建造物についての把握調査を小山高等専門学校と協力し実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	調査済みの地区以外にも歴史的建造物が残る地区があり、継続した作業が必要である。

状況を示す写真や資料等




評価軸3-6		評価対象年度	令和2年度
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項			
項目		現在の状況	
しもつけ風土記の丘資料館整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和2年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	しもつけ風土記の丘資料館を下野市の埋蔵文化財の発信拠点として改修を行い、下野市の歴史を発信し理解を深めることのできる施設とする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
常設展示室の改修工事及び展示リニューアル事業を実施し、これまでの展示を一新した。また、資料館の機能を強化するため増築工事を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	整備工事等が完了したため、今後は来館者の要望に応じた運営、継続的なソフト事業の実施が必要である(定期的な運営方針の確認)。		
状況を示す写真や資料等			
			
しもつけ風土記の丘資料館外観(左側が増築建物)		常設展示室改修状況	

評価軸3-7	
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
	評価対象年度
	令和2年度
項目	現在の状況
学びの場活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	国分寺西小学校(平成31(2019)年4月1日に国分寺小学校に再編)の校舎の一部を利用して、干瓢生産道具を主とした農業に関する民俗資料や埋蔵文化財、古文書等の歴史資料を収集・保管・展示する施設として整備し、これらの資料を使用して、歴史と文化を学び、体験する施設として活用する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
旧校舎各教室の効果的な活用と収蔵。特に収蔵に関しては、資料の検索も考慮した収蔵が必要である。また、資料も埋蔵文化財出土資料と民具類の民俗資料、古文書等の史料の長期保管なども考慮した収納が必要である。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	将来的には、 展示施設として整備する計画であるが 、整備に際しては都市計画法に基づく事務手続きが必要になるため、具体的な計画が決定した段階で調整を行う。
状況を示す写真や資料等	

評価軸3-8	
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
	評価対象年度
	令和2年度
項目	現在の状況
天平の丘公園・下野国分寺跡を活用したイベント事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和7年度
支援事業名	都市再生整備計画事業(R3より)・市単独事業
計画に記載している内容	天平の丘公園については、春の花まつり期間、下野国分寺跡については史跡愛好家の来訪がそれぞれ集客のメインになっている。 天平の丘公園再整備により通年で来園者を見込むが、更なる来園者の増加と、史跡地の周知及び積極的な活用を図るため、様々なイベントを実施する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
新型コロナウイルスの影響によりイベントが開催できなかったため、園路や広場の照明その他公園内施設の修繕を行い、今後のイベントの利活用に備えた。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス禍にあっても可能な新しい形式でのイベント開催を検討していく。また、終息後に備え、既存のイベントのブラッシュアップや新規イベントの創出を併せて検討していく。
状況を示す写真や資料等	
	
花広場照明LED化改修工事	防人街道照明LED化改修工事
	
レストハウス北側広場LED改修工事	

評価軸3-9	
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
	評価対象年度
	令和2年度
項目	現在の状況
歴史文化発信事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	市の歴史的風致を紹介するパンフレットの作成を行うほか、VR等を活用した歴史的風致形成建造物等の復元画像の制作と公開を行い、児童・生徒や来訪者に対し市の歴史的風致の魅力を発信を行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
これまでに作成した、下野薬師寺、古墳、日光街道、東山道関連文化財のVR画像の公開を行うとともに、資料館等で公開するためVR画像を活用した映像を制作した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	資料館での使用や学校教育における利活用も視野に入れ、今後の活用を想定する。
状況を示す写真や資料等	
 	
VRを活用した映像	

評価軸3-10	
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
	評価対象年度
	令和2年度
項目	現在の状況
ローカルガイド育成事業(文化財観覧ガイド養成事業)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	史跡下野薬師寺跡や下野国分寺跡等に訪れる来訪者等に対し案内・説明を行うガイドを養成するために、講習会やガイド認定制度の導入を行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
新型コロナウイルスの影響により講座の開催ができなかったが、市内の文化財を案内するための資料として配布してきた文化財マップを改訂し、新たに「れきぶんマップ」を作成した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	養成講座は、感染症対策を行ったうえで、次年度以降開催する。
状況を示す写真や資料等	
	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> これまで配布していた文化財マップを改訂し、市内の文化財の特徴をテーマに文化財めぐりのモデルルートとスマートフォン等によるガイドアプリを紹介した「れきぶんマップ」を作成した。 </div>	

評価軸3-11		
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
項目	評価対象年度 令和2年度	
民俗芸能・伝統行事継承事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	市内の祭礼に伴う伝統芸能や地域に伝わる民俗行事等の基礎調査を実施することにより行事等の把握を行う。また、保存・継承のため、専門的な知見に基づき、記録や道具等の整備、後継者育成、情報発信等の支援を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
新型コロナウイルスの影響により祭礼が行われなかった地域が多かったため、主な祭礼の実施状況について、電話によるヒアリングを実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	祭礼や行事に関する知識や情報の知見者の高齢化が進展しており、早期の記録や聞き取り作業が必要である。	
状況を示す写真や資料等		
市指定文化財(無形民俗文化財)について、下記の通りヒアリングを実施した。		
NO	文化財	実施状況
1	星宮神社太々神楽(春季例大祭)	春季例大祭では、事業を縮小し神楽の奉納を実施しなかった。神楽の奉納は秋に規模を縮小して実施した。
2	橋本神社太々神楽(祈年祭)	神事のみ実施。神楽の奉納は実施せず。
3	中大領大杉囃子(大杉様)	事業を縮小(毎年自治会地区演奏しながら2周練り歩くが、1周に減らした。また、通常18人で演奏するが、今年は10人で演奏した。)マスクの着用、消毒を実施。

評価軸3-12									
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項									
項目	現在の状況								
伝統文化体験事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手								
事業期間	令和元年度～令和10年度								
支援事業名	市単独事業								
計画に記載している内容	市内の祭礼に伴う伝統芸能や地域に伝わる民俗行事等を継承するために、将来の担い手となる小・中学生等に対し、ワラデッポウ作りやお囃子、太々神楽等の体験事業を行う。 また、次代を担う子どもたちに対して、地方公共団体や伝統文化等の指導者等が一体となって、地域ぐるみで民俗芸能、工芸技術、邦楽、日本舞踊、茶道、華道などの伝統文化等を体験・習得できる機会を新たに設けることにより、子どもたちの体験機会を拡充し、併せて地域文化・地域人材の掘り起こしを図る。								
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で									
・伝統文化親子教室を開催した。(茶道・華道・和装礼法・和琴・お囃子) 教室の成果の発表の場として、文化noフェスティバルを開催した。(会場:市役所3階会議室、市役所市民広場) (来場者: H30 162名、R1 176名、R2 126名)									
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)								
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業実施の効果を数値化して評価し、事業の拡大を図る。								
状況を示す写真や資料等									
 <p>伝統文化親子教室(お囃子)</p>	 <table border="1"> <tr> <td colspan="2">事業への参加者の推移</td> </tr> <tr> <td>H30: 延べ参加者</td> <td>90人</td> </tr> <tr> <td>R1:</td> <td>98人</td> </tr> <tr> <td>R2:</td> <td>70人</td> </tr> </table> <p>伝統文化親子教室(茶道)</p>	事業への参加者の推移		H30: 延べ参加者	90人	R1:	98人	R2:	70人
事業への参加者の推移									
H30: 延べ参加者	90人								
R1:	98人								
R2:	70人								
 <p>伝統文化親子教室(生け花)</p>	 <p>伝統文化親子教室(お琴)</p>								
 <p>わらでっぽうづくりの様子</p>	 <p>わらでっぽう体験</p>								

評価軸3-13		評価対象年度	令和2年度
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項			
項目		現在の状況	
歴史学習事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	将来、歴史的風致の担い手となる小・中学生に対する歴史等への学習支援を強化し、学校や教育委員会、博物館が連携した歴史学習事業の展開を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
資料館での学校見学での対応が約5校で約400人、市内の小学校への出前授業(かんぴょうむき体験・昔の暮らし)を市内の4小学校で実施した。また、下野薬師寺歴史館で子ども歴史講座を開催したほか、近隣の小学校との連携事業と連携した体験事業を実施した。※参考:R1実績 干瓢むき体験 2校・昔の暮らし 1校			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルスの感染対策を実施したうえで学校と連携しながら継続して事業を進める。また、毎年継続事業であるが、受講する児童が興味関心を深められるよう、常に新たな工夫が必要である。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸3-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
干瓢生産・消費推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 干瓢生産について、良質苗の提供や生産機械や施設整備への支援を行い、減少傾向にある干瓢生産の維持拡大を図っていく。
また、干瓢の消費については、毎年開催しているかんぴょうまつりや干瓢料理教室などの魅力発信に係るイベント等を開催し、消費拡大につなげていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

減少傾向にある干瓢生産量の維持拡大及び消費拡大を図るため、下記の支援等を行った。
 ■干瓢苗・種子購入への支援: 個人生産者やJAうつつのみや、JAおやまの生産部会を通し、苗・種子購入費約2,935,000円(約18,000本・400粒)に対し1/2補助を行った。
 ■生産機械、施設整備の支援: 干瓢乾燥用ヒーター、乾燥用パイプハウス、干瓢剥き機等の整備を行った生産者に対し1/2補助を行った。
 ■消費拡大への取り組み: 干瓢取り扱い店を記載した市内農産物直売所マップを作成し、市内農産物直売所に配布した。また、干瓢PR用のぼり旗を作成し、干瓢を取り扱う農産物直売所(5箇所)に配布した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・新規参入農家の掘り起こし ・干瓢農家の減少 ・干瓢剥き機の老朽化、生産メーカーの減少

状況を示す写真や資料等



市内農産物直売所マップの写真



干瓢PR用のぼり旗の写真

評価軸3-15	
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	現在の状況
干瓢生産道具保存活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	干瓢生産における夕顔の実を剥く道具は時代とともに変遷し、特徴的な変化があることからこれらの生産道具の調査を行い、国の登録有形民俗文化財への登録を目指すとともに、干瓢剥き等の体験事業を実施する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
市内の小学校への出前授業(干瓢むき体験等)を市内の小学校(1校)で実施した。また、生産道具の国の登録有形文化財への登録に向けて報告書の作成のための準備を行った。※参考:R1実績2校	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	体験授業は、新型コロナウイルスの感染対策を実施したうえで学校と連携しながら継続して事業を進める。生産道具の調査は、生産者や古い情報を有する知見者の高齢化等により、早期の記録・聞き取り作業が必要となる。
状況を示す写真や資料等	
	出前授業(干瓢むき) 緑小学校にて(7/16実施)
	文化財課職員が干瓢生産の歴史や昔の干瓢道具について解説した後、手カンナを使った干瓢むき体験を実施した。

評価軸3-16		評価対象年度	令和2年度
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項			
項目		現在の状況	
天平の丘公園再整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和7年度		
支援事業名	都市再生整備計画事業(R3より)・市単独事業		
計画に記載している内容	「天平の花まつり」の会場である天平の丘公園について、平地林の保全及び公園施設のユニバーサルデザイン化などを考慮した再整備を行う。 また、公園内を横断する市道2-22号線についても、公園施設と合わせて再整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
天平の丘公園再整備基本計画について、下野市観光振興推進委員会で意見聴収し、同基本計画を策定した。 また、社会資本総合整備計画(都市再生整備計画事業)を策定した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和3年度の事業開始をめざし、関係地権者の調整及び関係部署との連携を図り、事業を円滑に進めていく。		
状況を示す写真や資料等			
別添 天平の丘公園再整備基本計画案 			

評価軸3-17		評価対象年度	令和2年度
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項			
項目		現在の状況	
景観計画の策定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和3年度		
支援事業名	国庫補助事業(景観改善推進事業費補助)		
計画に記載している内容	歴史的風致の維持及び向上を確実に推進していくため、以下の施策について検討を進める。 ・平成31年度より景観団体へ移行 ・下野市景観計画(R3年度策定予定)における重点区域の位置づけ ・景観計画に基づき、屋外広告物条例を策定する。屋外広告物の積極的な誘導方策を検討する ・重点区域における建築物等の規制誘導について、区域住民への周知を図る		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度の景観計画の策定に向け、学識経験者や国・県、市民、市内各種団体等から構成される景観計画策定委員会を計3回開催した。なお、第3回策定委員会については、コロナ禍の状況により書面開催とした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	現在の景観の状況を把握し、下野市の特色を生かした良好な景観づくりを実現するために、引き続き計画の策定に向け検討していく。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">景観計画策定委員会の様子(令和2年7月28)</p>			

評価軸3-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
薬師寺周辺駐車場等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和3年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 すでに整備の進んでいる道の駅周辺に用地を購入し、駐車場を増設するとともに、交流施設の充実をはかる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

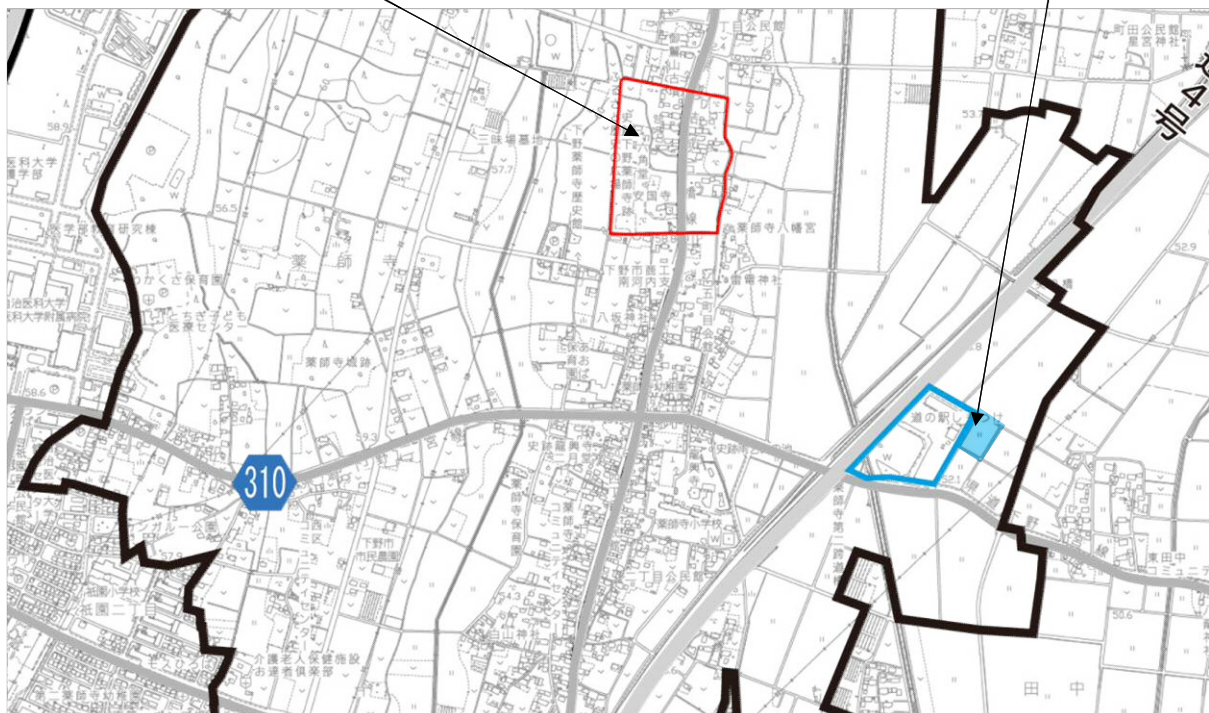
R2年3月に申請した予定地の農振除外手続きが完了し、地権者との売買契約・登記も完了した。現在、駐車場造成工事を発注し施工中である。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	「下野薬師寺いにしへの道整備事業」において道路景観の整備を併せて実施することにより、駐車場から史跡地への来訪者数の増加を図る。

状況を示す写真や資料等

史跡薬師寺跡

事業個所(駐車場整備)



評価軸3-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
下野薬師寺いにしへの道整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業(街なみ環境整備事業の活用に向けて協議調整中)

計画に記載している内容 重点区域の核となる重要な文化財である下野薬師寺跡周辺に所在する下野薬師寺歴史館、薬師寺(旧安国寺)、薬師寺八幡宮、龍興寺を結ぶルートである市道4101号線、4100号線、4131号線、及び7009号線において、安全な通行幅員確保による周遊空間の創出、及び歴史的情緒が体感できる道路への美装化による修景を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国土交通省住宅局の街なみ環境整備事業の活用に向けて、令和2年度は都市計画課と連携し、栃木県建築課との協議調整に着手した。令和3年度は都市計画課及び文化財課と連携し、「事業計画策定委員会」の組織して検討を深め、令和4年度に地域の関係者からの意見を活かした整備方針と事業計画を策定する。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	<p>【街なみ環境整備事業スケジュール】</p> <p>令和2年度: 県との協議調整 令和3年度～令和4年度: 事業計画策定委員会による整備方針及び事業計画の検討 令和4年度: 整備方針策定、費用対効果分析、事業計画策定(補助対象)、事業説明会 令和5年度: 詳細設計(補助対象) 令和6年度～令和8年度: 整備工事(補助対象)</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画策定委員会の委員の選定(寺社の関係者、地元自治会、ボランティアなど) ・街なみ環境整備事業を活用する場合、無電柱化事業等が含まれることになり、事業費の増大や事業期間の延長が懸念される。

状況を示す写真や資料等



事業概要(案): 栃木県建築課との協議資料

評価軸3-20		評価対象年度	令和2年度
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項			
項目		現在の状況	
情報案内・説明板設置事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内の説明板や誘導板については、旧町時代に設置したものも多く、設置した部署により表示内容やデザイン等でかなりの違いが生じて統一感に欠けるため、今後、策定予定の景観計画で統一した表示内容やデザイン等を検討し、景観計画に基づき設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年度より学識経験者や各種団体、公募による市民で構成される策定委員会を組織し、景観計画を策定していく過程で、地域の景観に関する基礎調査や市民アンケートを行い、下野市の景観及び歴史的風致にあった統一感のある案内板や説明板のデザイン案を検討し、整備を実施する。		
状況を示す写真や資料等			
			
市内における説明板・誘導板の現状写真			

評価軸4-1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
文化財の修理・整備に関する取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

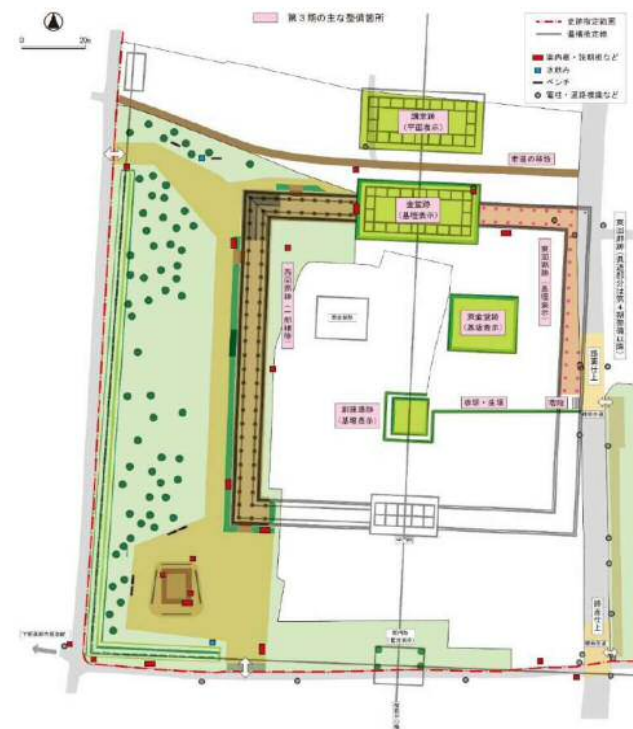
計画に記載している内容
 文化財の修理にあたっては、文化財の価値を維持もしくは復旧することを目的とし、関係機関や専門家と連携して行う。修理等に要する所有者等の財政的負担の軽減を考慮し、各種補助制度を積極的に活用する。史跡整備については、国の史跡である下野薬師寺跡の整備事業を進めるとともに下野国分寺跡等と連携した取り組みを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

下野薬師寺跡について、第3期整備事業を実施するための整備基本計画を策定した。また、下野国分尼寺跡では第2期保存整備工事を行い、完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	最新の発掘調査成果などの情報を常に参照することにより、必要に応じ整備基本計画や整備事業計画を見直し、適時適切な事業推進を図る。

状況を示す写真や資料等



下野薬師寺跡第3期整備事業基本設計平面図



下野国分尼寺跡第2期整備事業施工状況

評価軸4-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 しもつけ風土記の丘資料館を下野市における埋蔵文化財の保存・収蔵とともに情報の発信拠点として位置づけるため、資料館のリニューアルを実施するとともに、下野薬師寺歴史館についても、展示等のリニューアルについて検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

しもつけ風土記の丘資料館は、常設展示室等の改修工事を行うとともに、展示リニューアル業務を実施した。また、資料館の機能を強化するため、増築工事を行った。下野薬師寺歴史館は、下野薬師寺跡の保存整備事業に合わせて展示のリニューアルを行うため、その整備基本計画を策定した。

進捗状況 ※計画年次との対応
 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 市内の資料館と、周辺自治体の史跡や資料館、県立博物館など、県有施設との連携が必要である。

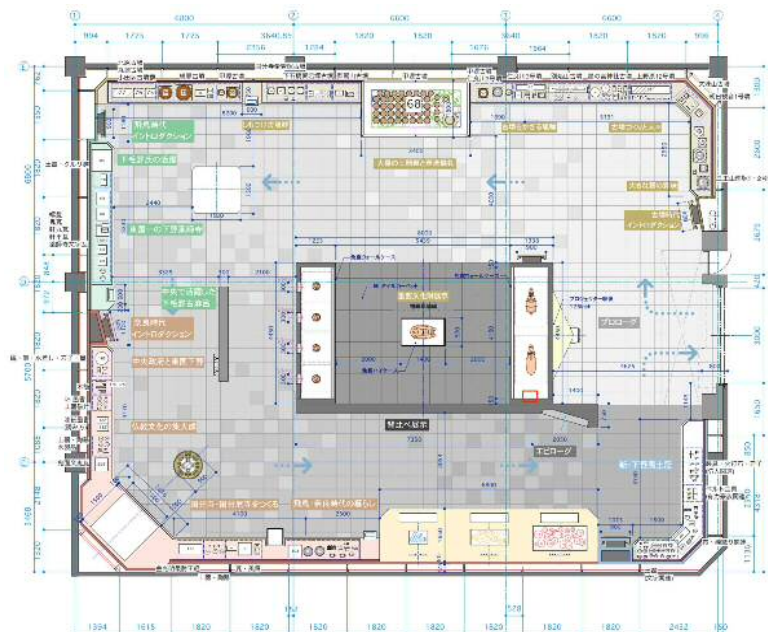
状況を示す写真や資料等



しもつけ風土記の丘資料館増築建物



下野薬師寺歴史館



しもつけ風土記の丘資料館展示室平面図

評価軸4-3

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 市内外の人々に文化財の存在や多様な価値を伝え理解を促す機会を提供するため、デジタルコンテンツの充実を図るとともに、パンフレットの作成や情報案内・説明板の設置、ローカルガイド育成等を行う。また、地域住民との連携や子どもたちに対する支援を強化し、民俗芸能や伝統行事の体験等を含めた歴史学習事業の展開を図る。加えて、地域住民や活動団体の発意による新たな歴史的風致の発掘・育成に対する支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

デジタルコンテンツの充実を図るため、これまでに制作した下野薬師寺・古墳・日光街道・下野国分寺及び国分尼寺の復元VR画像を公開するとともに、資料館等で使用するVR画像を活用した映像を制作した。また、新型コロナウイルスの影響によりガイド養成講座の開催ができなかったが、市内の文化財を案内するための資料として配布している文化財マップを改訂した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	これまで制作したデジタルコンテンツをさらに充実するとともに、インバウンド需要の増大も見越し、多言語対応の拡充を図る必要がある。

状況を示す写真や資料等



VRを活用した映像



評価軸6-1	
その他(効果等)	
項目	評価対象年度 令和2年度
ローカルガイド育成事業(文化財観見ガイド養成事業)における文化財観見ガイド養成講座の受講者数	
計画に記載している内容 史跡下野薬師寺跡や下野国分寺跡等に訪れる来訪者等に対し案内・説明を行うガイドを養成するために、講習会やガイド認定制度の導入を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付	
コロナウイルス感染症対策のため、今年度実施予定のガイド養成講座は中止としたが、次年度に改めて講座を実施する予定。	
進捗状況 ※計画年次との対応 <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) これまで本市の文化財が多く集中する古代の内容の講座を多く実施してきたが、今後は本市の中世～近世の本市の文化財に関する講座も開催し、幅広く深い知識をもつガイドを養成する必要がある。
状況を示す写真や資料等	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 養成講座の受講者の推移 H30:講座6回 延べ受講者 304人 H31:講座5回 延べ受講者 341人 R2:新型コロナウイルス対策のため中止 </div>	